

事前質問・回答一覧(総合振興計画審議会第2回会議【安心部会】)

施策番号	施策名	質問項目	質問内容	委員名	回答	所管課
16	よりよく適応するための支援体制づくりの推進	7. 施策指標	現状で小学校の不登校児童数が他市に比べて高いと問題指摘されているにもかかわらず、指標設定しない理由は何か。	板垣委員	指標設定時には、中学校の不登校生徒数が課題であったため、経年変化を把握して定量的な評価を行うために、同一指標により対応してきました。	学校教育課
		7. 施策指標	「相談件数については、教育支援センターにおける相談件数のみではなく各学校における支援件数を含めた件数を指標とするべきである」との部会の意見を採用しなかった理由は何か。	板垣委員	平成19年度に開設した教育支援センターを拠点とした支援体制の充実に取り組んできており、当初に設定した教育支援センターにおける相談件数という同一指標により対応してきています。	学校教育課
21	幼児教育の機会の支援	4. 課題 7. 施策指標	新制度の下での「子ども・子育て支援事業計画」の影響(課題や施策目標の見直しの必要性)はないか。	板垣委員	「幼稚園保護者補助」には旧制度と新制度が含まれるため、この補助割合により検証していきます。	こども福祉課
		7. 施策指標	H24部会の説明で「幼稚園児保護者補助対象園児の割合」についても、今後補足指標として進捗管理をしていきたい」と表明されていたが、今回の見直しで施策指標としなかった理由は何か。	板垣委員	施策指標とすることにしました。	こども福祉課
22	生涯学習支援の推進	(7. 施策指標)	(新旧対照表の施策指標「市民一人当たりの年間貸出冊数」の現状値は、修正前と後の数字が逆になっていないか?)	板垣委員	ご指摘のとおりです。 [修正後]4.8(冊)、[修正前]5.3(冊)に訂正します。	政策課
25	歴史的文化資源の保護・活用の推進	7. 施策指標	「文化財関係の講座参加者数」がH24年375人に対しH26年33人と激減している理由は何か。目標値や取組内容の見直しは不要か。	板垣委員	規模が大きく日程に左右される事業(遺跡見学会)、隔年に行う事業(展示会関連講座)も指標の数値となるため、ばらつきがある。取組内容を見直し、遺跡見学会は指標数値からはずし、講座の定員に対する参加率に指標を変更します。	生涯学習課
33	安心して楽しい育児の推進	4. 課題 7. 施策指標	新制度の下での「子ども・子育て支援事業計画」の影響(課題や施策目標の見直しの必要性)はないか。	板垣委員	課題そのものを見直すような影響はないと考えていますが、今後は各家庭の子育てに係る悩みやストレスを把握できる調査へ移行し、課題解決のための福祉サービスを提供できる体制作りを強化していきます。	こども福祉課
		7. 施策指標	アンケート(ニーズ)調査の実施頻度はどれくらいか。(H27年の目標値の実績検証は可能か)	板垣委員	年1回実施する予定です。子育てのしやすさや悩みなどを把握する目的の調査のため、検証は可能です。	こども福祉課
34	地域における健やかな子育ての実現	6. 取組内容	取組内容から「家庭訪問型子育て支援事業(ホームスタート)」を外した理由は何か。	板垣委員	ホームスタート事業は、平成27～31年度までの和光市子ども・子育て支援事業計画において、地域における妊娠期から出産育児までの切れ目のない支援(和光版ネウボラ事業)の一環として事業の位置づけをしたことから、取組内容から外しています。	こども福祉課
35	子育て家庭への経済的支援	7. 施策指標	自立支援を強調しながら、施策指標「自立支援教育訓練給付」の目標値を下方修正する理由は何か。	板垣委員	過去の実績を鑑み、達成可能な目標に再設定しました。	こども福祉課

施策番号	施策名	質問項目	質問内容	委員名	回答	所管課
36	高齢者の生きがいと社会参加への支援	4. 課題 6. 取組内容	団塊の世代を対象とした取組は、「ハイリスク高齢者の把握」という健康面(介護予防)の観点だけではなく、「生きがいと社会参加」の面からも一層の充実が求められているように思われるが如何か。(老人クラブの加入率やシルバー人材センターの登録者数の向上を引続き目指すだけでは不十分でないか)	板垣委員	ご質問の団塊の世代を対象とした「生きがいと社会参加」の面からの一層充実した取組については、ご指摘いただいた老人クラブの加入率やシルバー人材センターの登録者数の向上を引き続き目指すだけではなく、地域社会活動への参加に対する支援策、施設サービスによる支援策として、和光市長寿あんしんプラン(介護保険事業計画・高齢者保健福祉計画)に基づいた、高齢者の生きがいづくりや世代間交流につながる活動に取り組んでまいります。	長寿あんしん課
39	チャレンジドが安心できる障害福祉の推進	6. 取組内容	長年使われてきた「権利擁護」という言葉を外して、「サービス調整」に置き換える理由は何か。	板垣委員	地域生活支援センターは、権利擁護だけではなく、障害者一人ひとりに合わせて、様々なサービス(移動支援や訪問入浴等)の紹介や調整を行っているため、サービス調整という表現に置き換えました。	社会福祉課
40	地域で支え合う福祉の推進	7. 施策指標	H27年の目標が設定されていない理由は何か。	板垣委員	以下のとおり追記しました。 「民生委員充足率(H27年度)」=91.2% ※83名/91名を予定 「地区社協の設置(H27年度)」=0箇所 ※地域福祉計画では平成27年度の設置は無く、平成28年度より設置予定	社会福祉課
41	低所得者の生活の安定と自立への支援※	6. 取組内容	「②生活困窮者自立支援事業の実施」が取組項目として新設されたことは評価できるが、それであれば中間前倒し時に「①生活困窮者への相談と生活保護の実施」の項目に自立と就労支援を強調する文言を追加したところは一歩元に戻すべきではないか。このままでは施策名である低所得者の「生活の安定」と「自立への支援」のバランスが取れず、施策目的たる「生活に困窮する市民が健康的で文化的な生活を送れるようにする」ことが見失われることになるおそれはないか。	板垣委員	6取組内容の①については、特に生活保護世帯に対しての自立と就労支援について記入しています。 病気や障害があって、就労できず自立できない家庭に対しての生活支援は、当然、法によって生活費、住宅費の支援は、必要だと考えます。 その方々の健康で文化的な生活を保障することが(生活保護法第3条)の趣旨です。 ただ、生活保護受給者の中でも、勤務先が倒産したり、解雇されたりで本人の努力だけでは、回避できない理由により生活困窮になってしまっている人も多くあります。その様な方々の就労支援と自立を目指すために、市は、様々な相談支援をしていきますという趣旨でこの文を記載しております。	社会福祉課
43	健康で元気になる食育の推進	7. 施策指標	H25年度部会意見「施策の達成状況を毎年度把握できる施策指標の設定、各年度の取組がもたらす成果を統一した方法に基づいて算出できる施策指標の設定が必要である」に対応していない理由は何か。	板垣委員	事業の見直しや変更に伴い「健康教室への参加者数」の算出方法が変更され、達成度を評価することが困難なため、施策指標とすることが難しいためです。 また、食育に関するアンケートを毎年単独で実施していないためです。	健康支援課
44	安心できる健康づくりの推進	7. 施策指標	「保健指導実施者のメタボ改善率」に関して、過去の実績(H21~24平均40%)に比べて、国の法定報告に基づいて新しく設定した目標値(25%)がかなり低くなる理由は何か。	板垣委員	メタボ改善率の数値は、今まで、保健指導実施者の腹囲改善率を指標としていました。平成21年度の評価時は、この方法ではできませんでした。しかし、国の法定報告は、保健指導対象者のメタボ改善率を経年比較でみており、対20年度比25%の改善率を目標としています。平成25年度までは、保健指導実施者の腹囲改善率を指標としていることから、指標名を「保健指導実施者の終了時の腹囲によるメタボ改善率」に変更し、目標値は、変更しないことになりました。(目標値は、H26 40.0%、H27 52.0%、H32 50.0%のままとします。)	健康支援課

施策番号	施策名	質問項目	質問内容	委員名	回答	所管課
45	地域との連携による保健・医療体制の推進	7. 施策指標	施策指標は、保健医療サービス満足度のみではなく、具体的な医療体制の確保等を指標として設定することはできないか。	板垣委員	具体的な医療体制の確保として、小児救急休日夜間診療延日数と輪番制による休日夜間診療延日数を設定します。	健康支援課
67	市民参加の推進	3-2. 平成27年度の現状	「運用面での課題がある」とは具体的にどういうことか。	板垣委員	市民参加の手法は、市民参加条例第7条に規定されていますが、条例制定以来、実施されていない手法があったり、実施する手法が一部(特にパブリック・コメント)に偏りがあるなどの課題があります。条例制定から10年が経過していることから、実情にあった手法の検討及び実施方法の見直しが求められています。	政策課
68	さまざまな連携によるまちづくりの推進	7. 施策指標	施策指標の市民意識調査「地元の企業や公共研究機関との交流にかかわったことがある人の割合」だけでは施策の成果を適正に評価できるか疑問である。施策の結果として具体的な連携の広がりを示す適切な指標はないか。	板垣委員	次の施策指標の追加を検討します。 【指標名】 友好都市との交流事業数 【H26】 14事業 【H27】 14事業 【H32】 17事業 なお、事業内容は、スポーツ交流・夏休み里山体験教室・和光きもの散歩等です。	政策課
69	計画的な行政経営	4. 課題	行政評価のどの部分が必要以上のボリュームとなって業務を圧迫していると考えているのか。どういう方向で「効率的・効果的」になるように改変しようとしているのか。	板垣委員	行政評価について、施策評価77、事務事業評価は310のシートを作成していますが、中には補助金を出しているだけのものや扶助費、例えば医療費や災害見舞金など請求があったものを支給しているだけのものについても全て統一されたシートで評価をしています。行政評価を実施する対象を絞る、事業点検のような方法に変更するなど、検討が必要であると考えます。	政策課
70	効果的・効率的な行政サービスの提供	5. 課題解決の考え方と取組 6. 取組内容	H24年度組織再編が終了したため、「簡素で効率的な組織づくり」を課題と取組内容から外しているが、H32年まで不要とする根拠は何か。	板垣委員	全庁的な見直しによる大規模な組織再編は、市役所の利用者たる市民の皆様への影響も大きく、また、その検証においても再編後の組織としての一定期間の実績が必要となることから、短期間での再度の大規模な組織再編を想定していないことから不要としたものです。	政策課